

ぶんかざい おおた

第10号

平成19年10月発行

11月1日～7日は
文化財保護強調週間



文化財まるくん



文化財推進プロジェクト

大田区教育委員会では、先人が残した大切な郷土の歴史遺産である文化財の保存、学校教育での文化財活用を積極的に展開しています。

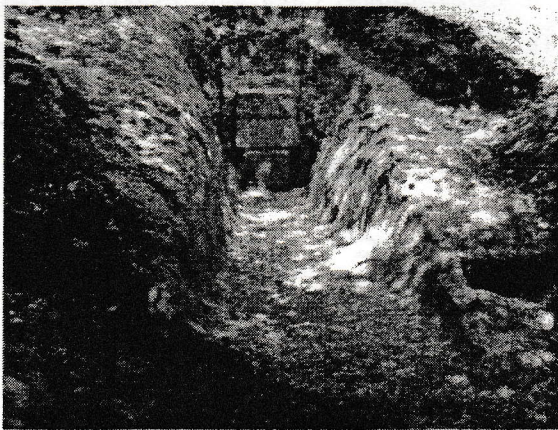
10月1日から11月30日は東京文化財ウィーク事業期間で、区内でも各種の行事が開催されます。皆様のご参加をお待ちしています。

横穴墓の発掘現場保存・公開事業報告

平成17年度～18年度に実施された「鶺の木松山公園」の公園造成に伴い、鶺の木一丁目横穴墓群(大田区遺跡地図No.168)の発掘調査が行われました。

調査の結果、奈良時代前後(約1300年前頃)につくられた4基(4号墓～7号墓)の横穴墓が発見されました。

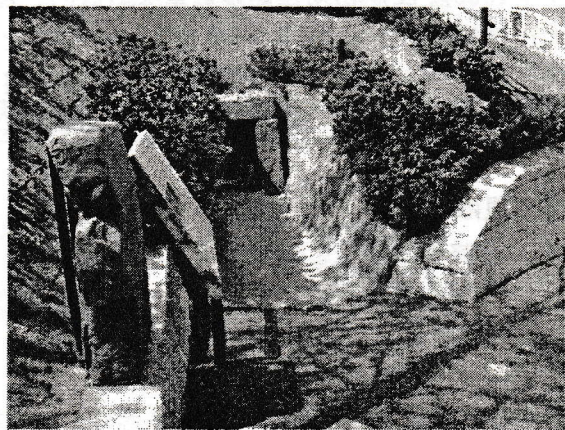
なかでも6号墓は、墓道・羨門・墓室の形態が良好に保存されており、大田区周辺に特徴的な切石羨門構造でした。また横穴墓はつくられた当時の立地景観を見学できるよう、公園内の発掘現場に保存・公開することになりました。



発掘された状態の6号墓

「鶺の木松山公園」へは、東急多摩川線「鶺の木駅」下車、多摩堤通りの鶺の木交番前信号を渡って直進し、住宅街の坂を左へ進むと、河原坂に出ます。目の前に広がっているのが「鶺の木松山公園」です。

保存公開されている6号墓は、公園入口から40m先の東斜面にあります。横穴墓の前には、説明版と、横穴墓を閉じた三段積みの実大の切石が展示されています。切り通し状の墓道を進むと、強化ガラス扉から、点灯した墓室の内部を見ることが出来ます。都内でも3例目に保存・公開された横穴墓を是非一度、ご覧いただければ幸いです。



公園に保存・公開された6号墓

【参考】修景保存遺跡(都内での実施例)

- (1) 等々力溪谷三号横穴<都指定> 世田谷区等々力1-22 区立等々力溪谷公園内
- (2) 出山横穴墓群第八号墓<都指定> 三鷹市大沢2-1097-1 (個人所有)

埋蔵文化財調査報告

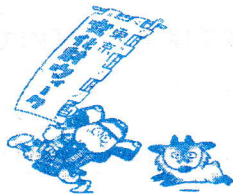
くがはらいせき

久ヶ原遺跡(久が原四丁目 22 番地点)

平成 18 年 5 月、個人住宅建設に伴い 70 m²を発掘調査しました。

調査の結果、弥生時代末期から古墳時代にかけて(1800 年前頃)の住居跡が 1 軒発見されました。住居跡からは、朱塗りの壺や高坏など久ヶ原遺跡では見られない他地域の土器が出土し地域間の交流が認められます。

今回の調査地点は、久ヶ原遺跡の北西端にあたり、久ヶ原遺跡の推定範囲の隅まで、集落が営まれていたことが判明しました。



文化財まもるくん

みるちゃん

平成 18 年度埋蔵文化財調査件数

発掘届 96 件、本調査 5 件(久ヶ原遺跡 2 件、新井宿横穴墓群、鶉の木一丁目横穴墓群 2 件)試掘調査 10 件(久ヶ原遺跡 3 件、田園調布本町貝塚、バンタ塚、桐里遺跡、山王一丁目横穴墓群、久原小学校内遺跡、雪ヶ谷貝塚、清光庵貝塚)

うのきいちようめよこあなぼぐん

鶉の木一丁目横穴墓群(鶉の木一丁目 6 番)

公園造成に伴い(表紙の事業報告参照) 4 基の横穴墓が発掘されました。ここでは保存状態の良い 6 号墓について、述べることにします。

6 号墓は、墓道から墓室まで全長 11.3 m、墓道は全長 5.9 m です。羨門は高さ 1m、幅 0.7 m、羨門は泥岩製切石で閉じられていました(表紙左写真参照)。墓室はドーム状で全長 5.4 m、奥壁最大高 1.85m、奥壁最大 2.65m、高さ 5 cm の棺台施設があります。棺台上には、礫が敷かれ、奥壁から 3 体が順次埋葬されていました。

被葬者は、20 歳前後 2 体と 30 歳以上 1 体でうち 1 体は、20 歳前後の女性と判明しています。この横穴墓は、3 体の埋葬から 2 回の追葬が考えられています。



6 号横穴墓の墓室

文化財保存事業報告 東陽院所蔵仏像の保存修理 (仲六郷二丁目)

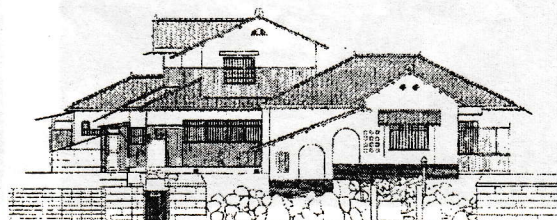
東陽院が所蔵する仏像は、(1)釈迦如来立像(寛永 12 年=1635)、(2)観世音菩薩立像(正保 3 年=1646)、(3)弘法大師坐像及び厨子(寛永 12 年=1635)。江戸初期在銘の貴重な仏像として大田区指定有形文化財です。

矧ぎ目が緩み、剥落も進行してきたため、解体修理を行いました。

修理途中、釈迦如来像の台座上面部から墨書銘が発見され、仏師名や設計図に使われたと思われる線等が確認されました。

文化財調査 「K 家住宅主屋」の現状調査 (久が原二丁目所在)

正面外観は、スパニッシュ風建築でありながら、内部は本格的な茶室を持つ伝統的な和風建築です。昭和 14 年(1939)、ヴォーリース事務所東京支所長であった松ノ井覚治の設計で建てられました。設計者は米国帰りでスパニッシュ建築を得意としました。その異色の数奇屋風作品として貴重です。



新指定文化財の紹介

「六郷神社獅子舞」が、大田区指定無形民俗文化財に

大田区教育委員会は、平成19年2月28日、六郷地区で伝承される「六郷神社獅子舞」を大田区指定無形民俗文化財(民俗芸能)として指定、告示しました。

この獅子舞は、獅子の威勢が、悪性の流行病や災害を除き去るといふ信仰に支えられてきた民俗芸能です。

【主役は、少年・少女たち】

獅子舞は、二匹の雄獅子が一匹の雌獅子を争うという筋立てで舞われ、途中で歌が入ります。三匹の「獅子」役は、小学校3年から6年の少年が演じます。その両脇には「花笠」と呼ばれる少女が立ち、スリザサラで伴奏します。このほか笛や歌(囃子)は経験のある年長者が担当します。

この舞の形式は「雌獅子隠し」といわれ、関東地方に広く分布する三匹獅子舞に当たるものです。このような獅子舞は、東京都全域では84箇所、区部では9箇所確認されていますが、六郷地区のように少年たちが演じる獅子舞は、全国的に見ても類例が少ないものです。



ご近所の声援を受けての辻舞い。今年から中踊り(獅子招き)も復活しました。

【生活の一部であった獅子舞】

獅子舞は、現在、6月上旬の土・日曜日に行われています。

古来、神事舞としての伝統が守られ、演舞は六郷神社の祭礼日に限られます。祭礼当日には、宮神輿の行列の先頭にたち、氏子町会を「道行」(巡行)し、それぞれの神酒所で「辻舞い」が行われてきました。また干ばつの時は、雨乞いのため特別に獅子を出したと伝えられます。それは獅子の「道行」や「辻舞い」には祓い・祈祷の意味があると考えられたからです。

このように人から人へ伝えられてきた無形の民俗文化財は、地域の生活環境が変化し多様化していく中で、かつての伝統文化を伝えている、大切な文化遺産です。

【地域に根差した伝承に期待】

昨今、魅力あるまちづくりを考える際に、地域文化の豊かさに気付き、その価値や意義を理解することの大切さが、見直されてきています。

「六郷神社獅子舞」は、江戸時代後期(19世紀後半)までさかのぼることができます。太平洋戦争のため一時期、中止されたこともありましたが、戦後まもなく復活され、獅子舞関係者の方々の熱意によって今日まで伝承されてきました。

現在、獅子舞は、地域に根差した伝統文化として「六郷神社子ども獅子舞保存会」が、将来を担う人材育成、技能伝承を行っています。この伝承活動が、地域に対する誇りと愛着をもって未来へ受け継がれていくことで、より一層、学校や地域社会の連携が図られることが、期待されます。

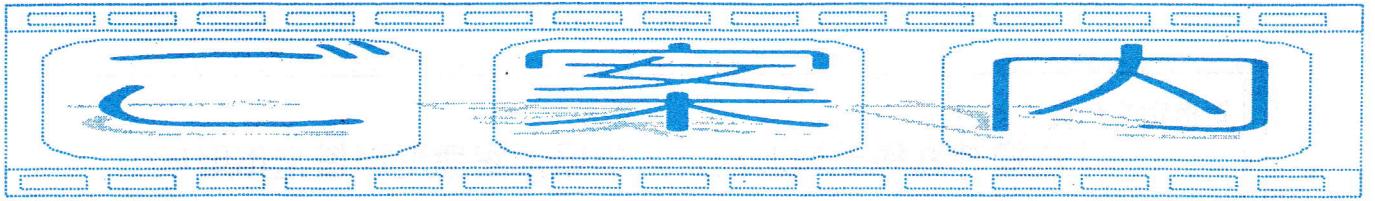
文化財公開事業報告

修復文化財の公開 (田園調布南・密蔵院)



平成17年度に保存修復された「青面金剛及び二童子四夜叉立像」(通常非公開)の見学会を平成18年10月27日(金)に実施しました。

なお、修理報告等については『大田区立郷土博物館紀要』第17号をご参照ください。



東京文化財ウィーク

公開事業 10月1日～11月30日

企画事業 11月3日～11月11日

この期間、都内全域で国・都指定文化財が公開されるほか、各市町村との連携により各種文化財事業を行います。

大田区では、次の事業を実施します。

◆ 文化財写真パネル展

区内の遺跡調査、指定・登録文化財などの写真パネルや遺跡出土品を展示します。

場所・期間

大田区役所 1階 展示コーナー

10月26日～11月6日

大田西地域行政センター 分室1階

(写真パネルのみ)

11月7日～11月16日

時間 庁舎開庁時間内

問合先 郷土博物館

◆ 文化財保護強調週間記念講演会

「よみがえるふるさとの遺跡

—造形保存による発掘現場の再生—」

日時 10月27日(土)午後2時～4時

場所 大田区役所 2階 会議室

講師 森山考古造形研究所

代表 森山 哲和 氏

定員 抽選で60名

申込方法 往復はがきで10月10日(水)必着
2名連記可

申込先 大田区立郷土博物館

◆ 史跡めぐり「六郷地区」

18年度修復文化財を中心とした文化財を紹介

日時 11月14日(水)午後1時30分から4時
(小雨決行)

定員 抽選で60名

申込方法 往復はがきで10月17日(水)必着
グループ参加可

申込先 大田区立郷土博物館



◆ 文化財の公開

①大坊本行寺 (池上2-10)

・「法華経板木(はんぎ)」都指定有形文化財
11月3日 午前10時から午後4時

・「日蓮上人入滅の旧跡」都指定旧跡
11月3日～11日

午前9時30分～午後4時30分

②池上本門寺(外観のみ公開)

・「宝塔」都指定有形文化財(池上2-10)

・「五重塔」国重要文化財(池上1-1)
午前9時～日没まで

③多摩川台公園内(田園調布1-63-1)

・「亀甲山古墳」国指定史跡

・「宝来山古墳」都指定史跡

・「多摩川台古墳群」都指定史跡

④大田区立郷土博物館

(午前9時～午後5時 月曜休館)

祝日は開館)

・「大森及び周辺地域の海苔生産用具」
国重要有形民俗文化財

参加方法 ①は当日現地へ②～④は期間以外でも見ることができます。

◆ 文化財ウィークガイドの配布

(数に限りがあります。ご了承ください)

配布場所 郷土博物館

大田区役所2階 区政情報コーナー

<input type="checkbox"/>	□□□-□□□□
<input type="checkbox"/>	往復はがき 記載事項
<input type="radio"/>	催しもの名称
<input type="radio"/>	郵便番号
<input type="radio"/>	住所
<input type="radio"/>	参加者全員の氏名
<input type="radio"/>	代表者の電話番号

大田区教育委員会 郷土博物館 文化財担当

〒143-0025 大田区南馬込5-11-13

TEL 03-3777-1281 fax 03-3777-1283